20大学入試過去問より

１　次の〔　　〕を補うのに最も適当なものをそれぞれ選び、記号を○で囲め。

①　に〔　　〕を正さず

ア　礼　　イ　冠

ウ　靴　　エ　襟

②　青は〔　　〕よりでて〔　　〕より青し（同じものが入る）

ア　瑠璃　　イ　藍

ウ　海　　　エ　空

③　高所恐怖症の君が宇宙に行きたいなんて、〔　　〕で茶を沸かすような話だ。

ア　へそ　　イ　鼻

ウ　爪　　　エ　尻

④　うまく説明することができず、隔〔　　〕の感がある。

ア　過　　イ　化

ウ　靴　　エ　霞

⑤　あの村長は穏やかで、〔　　〕を絵に描いたような人だ。

ア　八方美人　　イ　温厚篤実

ウ　大胆不敵　　エ　平身低頭

２　次の――線部の語句の意味として最も適当なものをそれぞれ選び、記号を○で囲め。

①　攻撃の口火を切る。

ア　誤った議論をすること。　　イ　物事をし始めること。

ウ　激しく主張すること。　　　エ　反論の口実を作ること。

②　完膚なきまでに敵をやっつける。

ア　多少の例外はあるが。　　イ　理路整然と。

ウ　余すところなく。　　　　エ　いとも簡単に。

③　犬猿の仲をとりもつ。

ア　うまく取り扱う。　　イ　仲立ちをする。

ウ　元通りにする。　　　エ　比較対照する。

④　彼は天衣無縫な性格だ。

ア　透き通るようにはかなげな様子。

イ　でこぼこがなく、なめらかな様子。

ウ　白い衣のように清潔な様子。

エ　無邪気で屈託のない様子。

３　次の説明にあてはまるものをそれぞれ選び、記号を○で囲め。

①　「六月」の異名。

ア　如月　　　イ　神無月

ウ　水無月　　エ　卯月

②　中宮に仕えた女房で、虚構の人物の栄華を語る長編物語を書いた人。

ア　　　イ

ウ　式部　　エ

４　次の各問いに答えよ。

　①「さみだれやのぬけ行く琴のり」の句の「さみだれ」について、

　⑴　漢字に改めよ。

〔　　　　　〕

　⑵　「さみだれ」の表す季節を答えよ。

〔　　　〕

　②次の―線部の意味として最も適当なものをそれぞれ選び、記号を○で囲め。

　⑴　ののしり満ちて下りぬる後、

ア　感心して　　　イ　悪口を言って

ウ　大騒ぎして　　エ　あなどり

　⑵　またのつとめてぞすこし空晴れたる。

ア　昼下がり　　イ　早朝

ウ　翌日　　　　エ　短い時間

５　次の―線部の文法的説明を、〔　　〕を適切に補って完成させよ。

　①　忘れずよ野上に茂るわれもかう分けしの露もまだず

〔　　〕行〔　　　　　　〕活用の動詞「〔　　　　　〕」の〔　　　　〕形

　②　の、かうのけうらにて、ふるめかしきのなかば絶えにけるも、

〔　　〕行〔　　　　　　〕活用の動詞「〔　　　　　〕」の〔　　　　　〕形

③　隣りの人の教へけるままに、に至りて、たづね合ひて、まさしく対面したりけり。

〔　　〕行〔　　　　〕活用の（複合）動詞「〔　　　　〕」の〔　　　　〕形

【解答】

１　①イ　②イ　③ア　④ウ　⑤イ

２　①イ　②ウ　③イ　④エ

３　①ウ　②ア

４　①　⑴五月雨　⑵夏

　　②　⑴ウ　　　⑵イ

５　①ハ〔行〕上一段〔活用の動詞〕「干る」〔の〕未然〔形〕

　　②ヤ〔行〕下二段〔活用の動詞〕「絶ゆ」〔の〕連用〔形〕

　　③サ〔行〕変格〔活用の（複合）動詞〕「対面す」〔の〕連用〔形〕